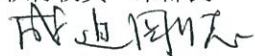


CS 言明書

株式会社ビットアイル  
テクノロジー・サービス本部  
執行役員 本部長  


当社は、下記クラウドコンピューティングサービスを提供するにあたり、「クラウド情報セキュリティ基本言明要件」（「クラウド情報セキュリティ管理基準」）の求めるところに従い、情報セキュリティガバナンスのもとで情報セキュリティマネジメントを実施し、基本リスクに対する管理策を整備、実装、運用しています。

1.クラウドコンピューティングサービス名称

ビットアイルクラウドサービス

2.対象範囲

ビットアイルクラウドプラットフォームサーバVシリーズは、当社が、サーバ、ネットワーク機器やストレージなどのハードウェア及び、仮想化ソフトウェアを用いて、お客様にコンピュータリソースを提供する IaaS サービスです。お客様のお申込みに応じて、専用物理サーバ単位でコンピュータリソースを提供します。

【サービス共通基盤】

責任分界点は、サーバ、ネットワーク機器やストレージなど構成ハードウェア及び、仮想化ソフトウェアなどのサービス共通基盤の管理者権限を所有します。一部の機能を除きお客様に、その権限を提供することはありません。なお、サービス共通基盤システムのサーバ、ネットワーク機器やストレージなどは、2重化またはN+1の冗長化構成により構築しています。データストアのデータバックアップはお客様にて実施いただくか、OSイメージバックアップオプションをお申込みください。

当サービスはベストエフォート型サービスであり、ネットワーク、ストレージの最低通信速度を保証するものではありません。

【ゲスト OS (V シリーズ)】

ゲスト OS の種類は、CentOS または Windows Server となります。ゲスト OS はお客様にて管理願います。

### 3.対象リスク

- H01 リソース・インフラの高集約によるインシデントの影響の拡大
- H02 仮想/物理の設計・運用の不整合

4.詳細言明

クラウド固有のリスク

(2) 情報と処理の改ざんリスクに関して (完全性)		
情報及び処理が改竄される リスク (情報及び処理が網羅され ない、正確でないことを含 む)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大す る	H01
(3) サービス利用不能リスクに関して (可用性)		
サービス提供ができなくなる リスク (利用者が利用したいとき に、提供できないことを含 む)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大す る	H01
	物理/仮想環境の設計・設定・運用の不整合により、機能不全と なる	H02

(4) その他の情報セキュリティリスク		
セキュリティ要件 /リスクカテゴリー	リスク要因	
【機密性】 保護すべき情報が漏えい するリスク	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が 有効でない	他 3
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5
【完全性】 情報及び処理が改竄され るリスク (情報及び処理が網羅され ない、正確でないことを 含む)	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が 有効でない	他 4
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5
【可用性】 サービス利用ができなく なるリスク (利用者が利用 したいときに、提供できな いことを含む)	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が 有効でない	他 4
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5

#### 5.特記事項

・サービス利用者と当社間のSLA等の合意またはサービス契約に基づく個別事項に係るリスクについて、言明しておりません。

・諸環境（内外の規制、技術等）の不可抗力の変化が、将来的に当社に及ぼすかもしれないリスクについて、言明しておりません。